

製品保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当製品は、厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、アフターサポート規定に基づき修理をさせていただきます。

保証期間：お買い上げ日より1年間

アフターサポート規定

- 取扱説明書・本体注意ラベル・タグにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理させていただきます。但し、スクリーン、スラット部は対象外です。無料修理サービスをご依頼になる場合は、メンテナンスシールをご確認のうえ、お買い上げの販売店へご依頼ください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店が不明な場合は、弊社お客様相談室へお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理サービスとなります。
 - (イ) 本書の提示が無い場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷。
 - (ハ) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造もしくは、純正部品以外の使用による故障、損傷。
 - (ニ) 火災・地震・雷・風水害その他天災地変など、外部要因による故障及び損傷。
 - (ホ) 特殊環境（強度の湿気、塩害、薬品のガス、公害）による故障及び損傷。
 - (ヘ) お買い上げ後の取付け場所の移動による故障及び損傷。
 - (ト) 当社カタログに記載している仕様以外の製品についての故障及び損傷。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

トーソー株式会社 本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9

トーソー株式会社

◎お客様相談室 tel. 03-3552-1002

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9 ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>

TOSO

電動ローマンシェード スーパーリベルタ

取扱説明書 No. N-110010

1版

取扱説明書(保証書付き)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

目次

■ 安全上のご注意	2
■ 製品全体図及び部品名称	4
■ 取付け方法	5
1 標準仕様	5
2 ジョイント仕様	8
3 ガイドコードの取付け(オーストリアンスタイルのみ)	14
4 ウェイトの取付け(オーストリアン、バルーンスタイルのみ)	14
■ 結線方法	15
■ 接続確認	17
■ “故障かな”と思ったら	18
■ メンテナンス	19
1 幕体の取外し方法(クリーニング等の場合)	19
2 昇降テープの交換手順	20
■ 製品仕様	22
■ マーキングについてのおことわり	23
■ メンテナンスシール	23
■ 梱包材の処理方法	23
■ 製品保証書	24

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

- 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）



警告

- 付属の取付けネジは、木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。下地の強度が不足すると落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。



■使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）



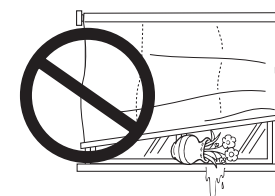
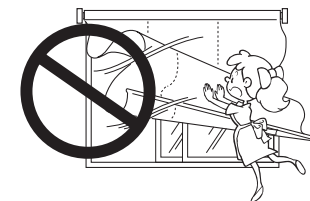
警告

- 製品に物を吊りさげたり、ぶらさがらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- 本製品の電源は、AC100Vです。それ以外の電源は使用しないでください。
- 本製品は当社指定のスイッチに対応しています。それ以外のスイッチは使用しないでください。
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源プラグのほこり等は定期的にとってください。プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- めれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



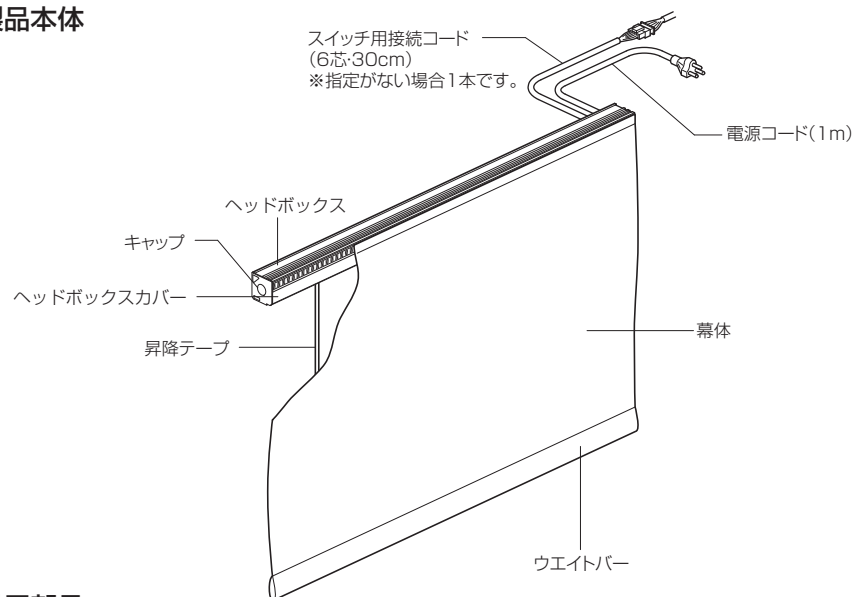
注意

- 強風のときや雨の時は、必ず窓を閉めるか幕体をたたみ上げた状態にしてください。
- メカ部の分解や稼動部への注油は破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 製品本体を分解しないでください。破損や故障の原因となります。
- 火のそばでのご使用は絶対におやめください。
- 昇降（開閉）動作の範囲内に破損の恐れがあるものや操作の障害となるものを置かないでください。



製品全体図及び部品名称

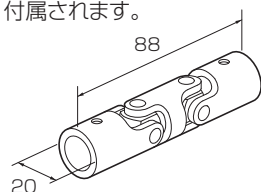
製品本体



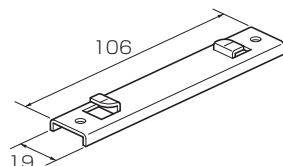
付属部品

●ユニバーサルジョイント

※ジョイント仕様の場合
付属されます。

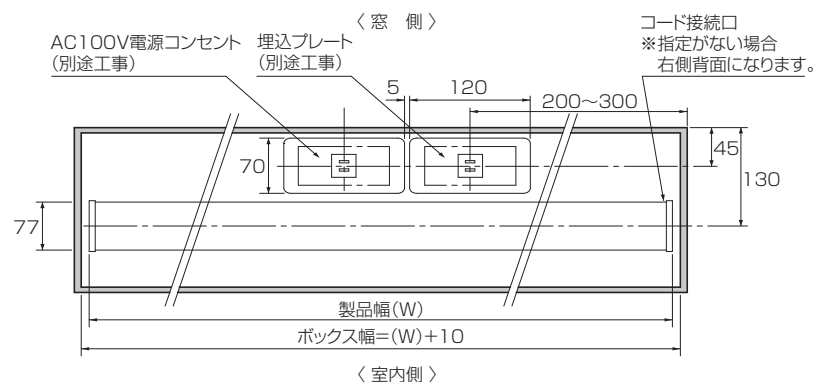


●ブラケット(別売)



※取付けネジは付属されません。

取付け寸法図



取付け方法

※取付け方法は**標準仕様**(ジョイントなし)と**ジョイント仕様**で異なります。仕様に応じて、それぞれの取付け方法に従ってください。

1 標準仕様

- ブラケットは指定がない場合付属されておりません。ヘッドボックスを直に天井面に取付けてください。

①ヘッドボックスを取付けてください。

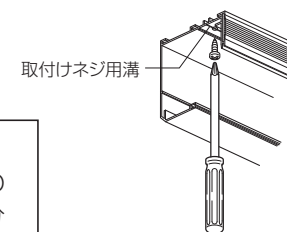
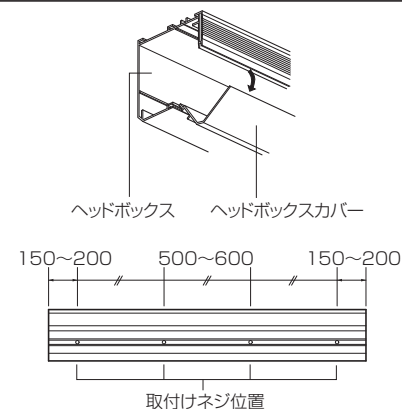
- ①ヘッドボックスカバーを取外してください。

- ②取付けネジは両端部から150~200mm、その間は500~600mmで等間隔に取付けてください。

- ③事前に取付けネジ用の穴をヘッドボックス内の取付けネジ用の溝にドリル等であけてください。

- ④下地に合った取付けネジでヘッドボックスを取付けてください。(取付けネジは付属されておりません。)

- ⑤幕体、ヘッドボックスカバーは、まだ取付けないでください。



⚠ 注意

- ① 穴あけや取付けの際の切り粉がヘッドボックス内のモーター、コントロール基板にかからないよう充分注意してください。ショートの原因となります。

②結線を行ってください。

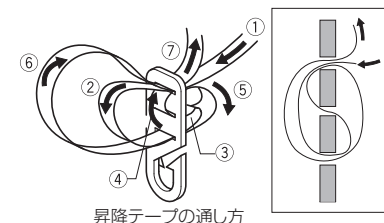
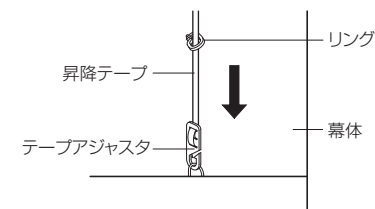
結線につきましては、P.15「結線方法」を参照してください。

③幕体を取付けてください。

- ①ヘッドボックス上部のマジックテープへ幕体を取付けてください。

- ②幕体裏面のリング全てに昇降テープを通して、最後にテープアジャスタに取付けてください。その際、昇降テープがねじれていないか確認してください。

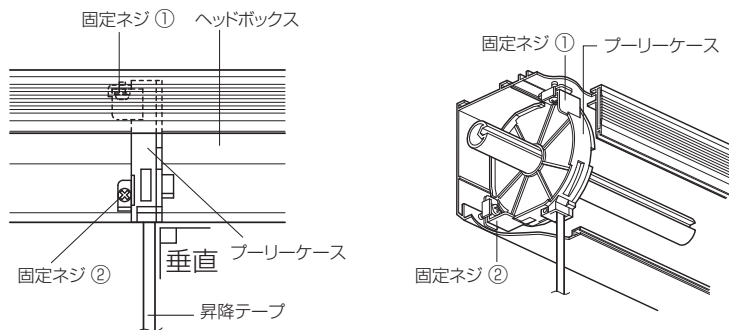
- ③もし、昇降テープがリングに通っていなかったり、ねじれている場合は、P.19「幕体の外し方」を参照して直してください。



④ 昇降テープの位置を確認してください。

- ① 全ての昇降テープがヘッドボックスに対して垂直に下りているか確認してください。
- ② もし1本でも垂直に下りていない場合は、以下の手順で位置を修正してください。

〈昇降テープ位置修正方法〉



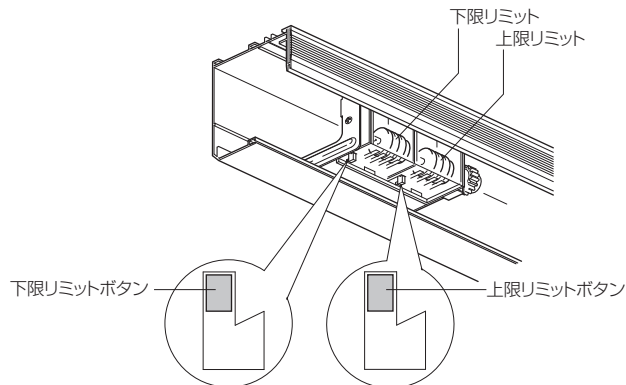
- 昇降テープが出ているプーリーケースをヘッドボックスに固定している固定ネジ①、②をゆるめてください。
- プーリーケースを左右に動かし、昇降テープがヘッドボックスに対して垂直になるように調整してください。
- 再び固定ネジ①、②にてプーリーケースを固定してください。

⑤ 動作の確認を行ってください。

- ① 結線を確認してください。(P.17「接続方法」を参照してください。)
- ② スイッチのOPEN (上昇)、STOP (停止)、CLOSE (下降) を押して、確実に動くかどうか確認してください。
- ③ 「動かない」等の場合は、P.18「故障かな」と思ったら」を参照してください。

⑥ 上限リミット、下限リミットの確認を行ってください。

※ 商品の出荷時点では、予め設定されていますが、変更する場合のみ以下の手順に従って変更してください。

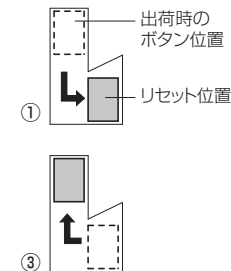


※ 出荷時及び通常動作時のボタン位置。

● 上限リミットを変更する場合

〈現在の上限位置よりも上側に上限リミット位置を変更する場合〉

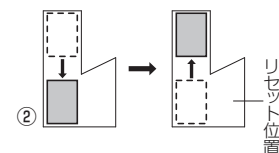
- ① 上限リミットボタンをフリーの状態 (リセット位置) で固定してください。
- ② スイッチで幕体を停止させたい位置まで移動してください。



- ③ 位置が決まったら、上限リミットボタンをセット位置に戻してください。

〈現在の上限位置よりも下側に上限リミット位置を変更する場合〉

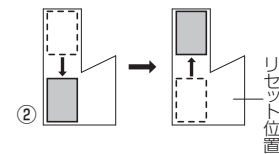
- ① スイッチで幕体を停止させたい位置まで移動してください。
- ② 位置が決まったら、上限リミットボタンをリセット方向に1回押してから離してください。その位置が新しい上限位置となります。



● 下限リミットを変更する場合

〈現在の下限位置よりも上側に下限リミット位置を変更する場合〉

- ① スイッチで幕体を停止させたい位置まで移動してください。
- ② 位置が決まったら、下限リミットボタンをリセット方向に1回押してから離してください。その位置が新しい下限位置となります。

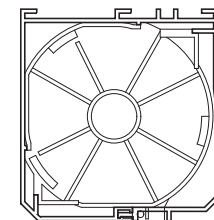
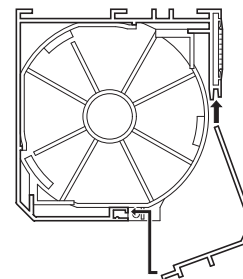


⚠ 注意

- ⊘ 現在の下限位置よりも下側へ下限リミット位置の変更は行わないでください。幕体が逆に巻かれてしまい不具合の原因になります。

⑦ ヘッドボックスカバーを取付けてください。

- ① ヘッドボックスの切り欠きの位置とプーリーの位置、上限、下限リミットの位置が合っているか確認してください。
- ② ヘッドボックスカバーをヘッドボックスの溝にはめ込み、固定してください。

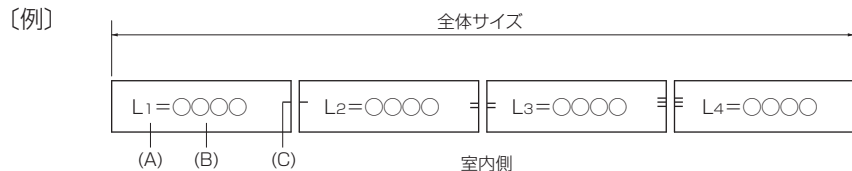


2 ジョイント仕様

- ブラケットは指示がない場合付属されていません。ヘッドボックスを直に天井面に取付けてください。
- 幕体は別梱包となっております。

① 取付ける前に以下の事を確認してください。

- ① 各ヘッドボックスの位置、サイズ、ジョイント位置を各ヘッドボックス上面のマーキングにて確認してください。



- (A) ヘッドボックス位置……室内側向かって左からL1、L2、L3…となります。
 (B) ヘッドボックスサイズ……分割されたそれぞれのヘッドボックスサイズです。
 (C) ジョイントマーク……ジョイント部には必ず入ります。ジョイントマークの本数を合わせてください。

② 正しく床に一度仮置きし、全体の製品幅を確認してください。

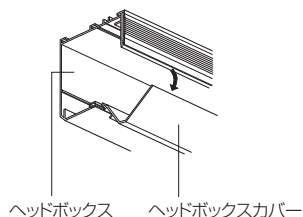
- ③ モーター、及びコントロール基板が設置されたヘッドボックスは、中央付近に配置されていますので確認してください。

注意

- ① ヘッドボックスの配置を間違えるとモーター等の破損の原因となります。ご注意ください。

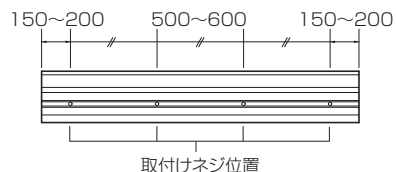
② 左端もしくは右端のヘッドボックスを取付けてください。

- ① ヘッドボックスカバーを全て取外してください。



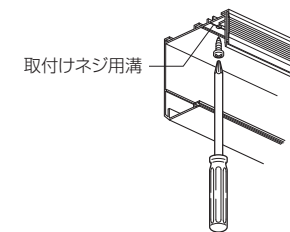
ヘッドボックス ヘッドボックスカバー

- ② 取付けネジは両端部から150～200mm、その間は500～600mmで等間隔に取付けてください。



- ③ 事前に取付けネジ用の穴をヘッドボックス内の取付けネジ用の溝にドリル等であけてください。
- ④ 下地に合った取付けネジでヘッドボックスを取付けてください。（取付けネジは付属されていません。）

※ 幕体、ヘッドボックスカバーは、まだ取付けないでください。



注意

- ① 穴あけや取付けの際の切り粉がヘッドボックス内のモーター、コントロール基板にかからないよう充分注意してください。ショートの原因となります。

③ 隣合うヘッドボックスを取付けてください。

- ブラケットは指定がない場合付属されておりません。ヘッドボックスを直に天井面に取付けてください。

- ① 隣合うヘッドボックスの端部をぴったり合わせてください。（上下左右のずれは2mm以内）

※ ヘッドボックスの位置がずれるとシャフトがジョイントできなくなりますのでご注意ください。

- ② ジョイント部には、ヘッドボックス用のキャップは使用しないでください。

- ③ ヘッドボックスカバーを全て取外してください。

- ④ 取付けネジは両端部から150～200mm、その間は500～600mmで等間隔に取付けてください。

- ⑤ 事前に取付けネジ用の穴をヘッドボックス内の取付けネジ用の溝にドリル等であけてください。

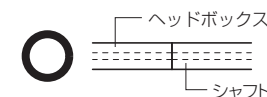
- ⑥ 下地に合った取付けネジでヘッドボックスを取付けてください。

（取付けネジは付属されていません。）

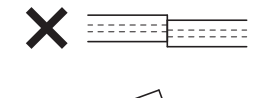
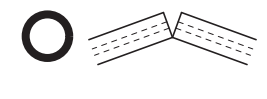
- ⑦ 幕体、ヘッドボックスカバーは、まだ取付けないでください。

※ 順次隣合うヘッドボックスを取付けてください。

〈直線ジョイント〉

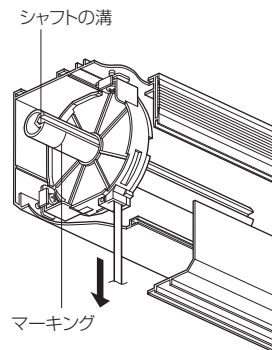


〈多角形ジョイント〉



④ シャフトをジョイントしてください。

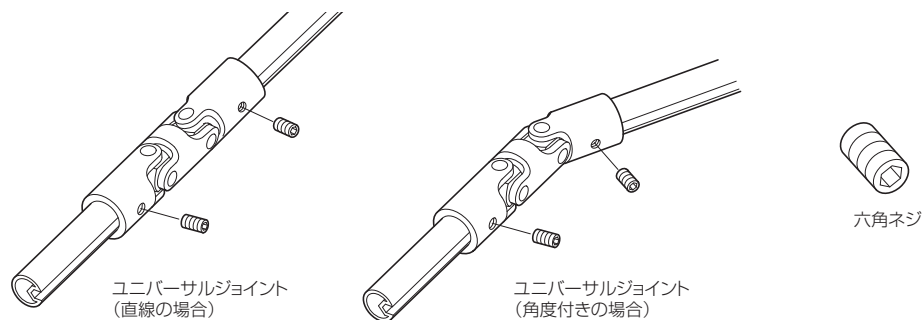
- ① 全てのプーリーケースから昇降テープを全て引き出してシャフトの溝の位置を合わせてください。
(モーターの入っているヘッドボックス内のプーリーは予め昇降テープが全て引き出されています。)
- ② ユニバーサルジョイントの六角ネジをゆるめてください。
(ユニバーサルジョイントは別梱包されています。)
- ③ モーターの入っているシャフトからユニバーサルジョイントを差し込み、シャフトに付いているマーキングの位置で固定してください。
- ④ ジョイントする側のシャフトを動かしてユニバーサルジョイントに差し込み、シャフトに付いているマーキングの位置に合わせて固定してください。



※ シャフト同士の溝の位置が合っていることを確認してください。

※ 以下同様にジョイントしてください。

※ 六角レンチは付属されておりません。(六角レンチサイズ:2.5)



⑤ ヘッドボックス内の結線を行ってください。

- ① モーターの入っているヘッドボックスからスイッチ用接続コード (6芯、コネクタ付×1または×2) と電源コード (3芯、コネクタ付×1) が出ている事を確認してください。
- ② ジョイントするヘッドボックス内にスイッチ用接続コード (6芯、コネクタ付×1または×2) と電源コード (3芯、コネクタ付×1) が内蔵されている事を確認してください。
- ③ ジョイントするヘッドボックス (モーターが入っていない方) 内でコネクタ同士を結線してください。
- ④ 余分な線はシャフトに接触しないようにヘッドボックス内でまとめてコードクリップで固定してください。(コードクリップは付属されています。)



注意



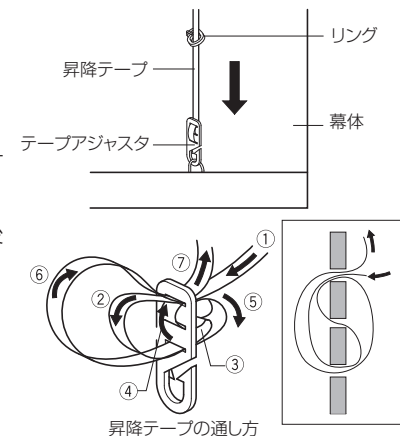
ヘッドボックス内の結線はジョイント部付近で行わないでください。
コードがからまり故障の原因となります。

⑥ 結線を行ってください。

結線につきましては、P.15「結線方法」を参照してください。

⑦ 幕体を取付けてください。

- ① ヘッドボックス上部のマジックテープへ幕体を取付けてください。
- ② 幕体裏面のリング全てに昇降テープを通して、最後にテープアジャスタに取付けてください。その際、昇降テープがねじれていないか確認してください。
- ③ もし、昇降テープがリングに通っていないか、ねじれている場合は、P.19「幕体の外し方」を参照して直してください。



⑧ ウェイトバーをジョイント (プレーンスタイル、シャープスタイルのみ) してください。

製品サイズにより、ウェイトバーのジョイントが発生します。分割されているウェイトバーの端部には、ネジ部と受け部がありますので、確認した後ジョイントしてください。

※ 直線ジョイントの場合は、ジョイントするもの同士にヘッドボックスのジョイントマークと同様の印が付いています。確認してジョイントしてください。(詳しくはP.8**ジョイント仕様**を参照してください。)

※ 多角形の場合はジョイントしません。



⑨ シェーパーをジョイント (シャープスタイルのみ) してください。

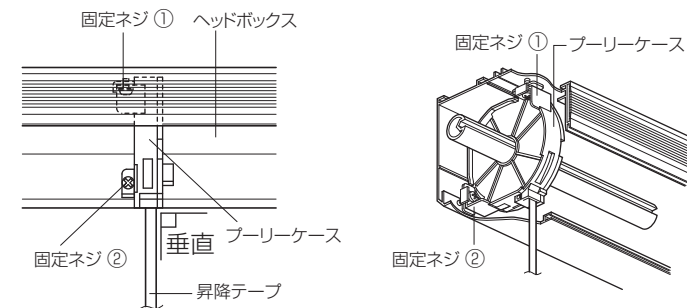
製品サイズによりシェーパーのジョイントが発生します。分割されているシェーパーの端部は、凸部と凹部がありますので確認した後ジョイントしてください。



⑩ 昇降テープの位置を確認してください。

全ての昇降テープがヘッドボックスに対して垂直に下りているか確認してください。
もし1本でも垂直に下りていない場合は、以下の手順で位置を修正してください。

〈昇降テープ位置修正方法〉



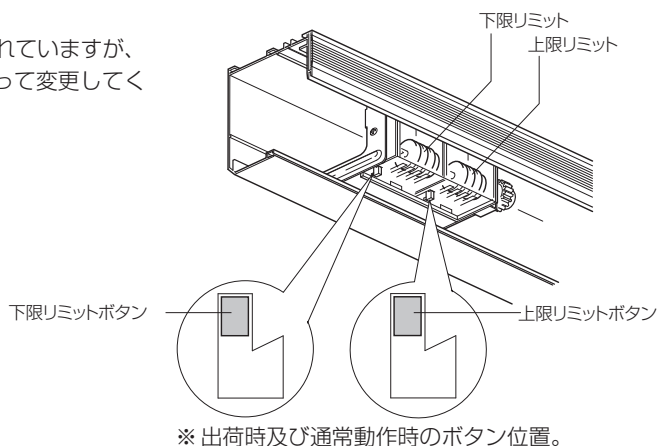
- ・昇降テープが出ているプーリーをヘッドボックスに固定している固定ネジ①、②をゆるめてください。
- ・プーリーを左右に動かし、昇降テープがヘッドボックスに対して垂直になるように調整してください。
- ・再び固定ネジ①、②にてプーリーを固定してください。

⑪ 動作の確認を行ってください。

- ① 結線を確認してください。（P.17「接続方法」を参照してください。）
- ② スwitchのOPEN（上昇）、STOP（停止）、CLOSE（下降）を押して、確実に動くかどうか確認してください。
- ③ 「動かない」等の場合は、P.18「故障かな」と思ったら」を参照してください。

⑫ 上限リミット、下限リミットの確認を行ってください。

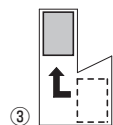
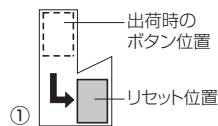
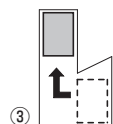
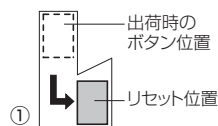
※ 商品の出荷時点では、予め設定されていますが、変更する場合のみ以下の手順に従って変更してください。



● 上限リミットを変更する場合

〈現在の上限位置よりも上側に上限リミット位置を変更する場合〉

- ① 上限リミットボタンをフリーの状態（リセット位置）で固定してください。
- ② スwitchで幕体を停止させたい位置まで移動してください。
- ③ 位置が決まったら、上限リミットボタンをセット位置に戻してください。



〈現在の上限位置よりも下側に上限リミット位置を変更する場合〉

- ① スwitchで幕体を停止させたい位置まで移動してください。
- ② 位置が決まったら、上限リミットボタンをリセット方向に1回押してから離してください。その位置が新しい上限位置となります。

● 下限リミットを変更する場合

〈現在の下限位置よりも上側に下限リミット位置を変更する場合〉

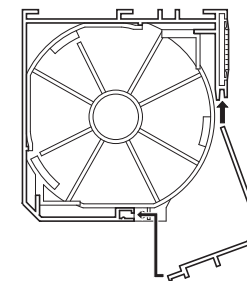
- ① スwitchで幕体を停止させたい位置まで移動してください。
- ② 位置が決まったら、下限リミットボタンをリセット方向に1回押してから離してください。その位置が新しい下限位置となります。

⚠ 注意

- ⓧ 現在の下限位置よりも下側へ下限リミット位置の変更は行わないでください。幕体が逆に巻かれてしまい不具合の原因になります。

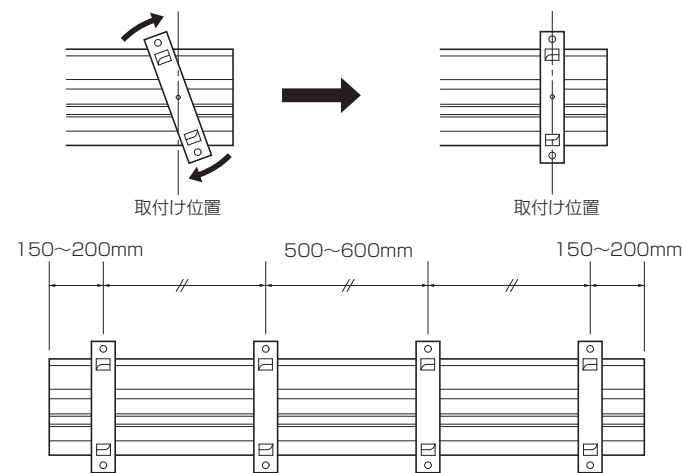
⑬ ヘッドボックスカバーを取付けてください。

- ① ヘッドボックスカバーの切り欠きの位置とプーリーの位置、上限、下限リミットの位置が合っているか確認してください。
- ② ヘッドボックスカバーをヘッドボックスの溝にはめ込み、固定してください。



■ オプション(別売)のブラケットを使用する場合(標準仕様、ジョイント仕様共通)

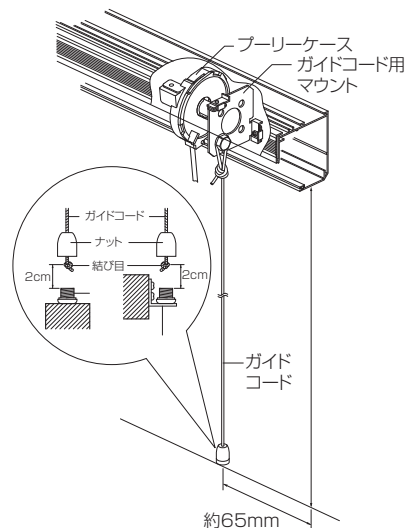
- ・ 取付け下地の状態に合わせてブラケットを使用してください。
- ・ 予めヘッドボックスへブラケットを固定した後、取付け面へ取付けてください。
- ・ ブラケットの位置は、両端部から150～200mm、その間は500～600mmで等間隔に取付けてください。



③ ガイドコードの取付け (オーストリアンスタイルのみ／標準仕様、ジョイント仕様共通)

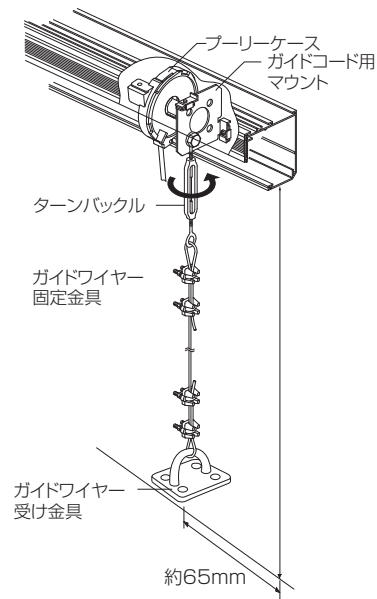
〈製品幅4000mmまでの場合〉

- ① ガイドコード用マウントの穴にガイドコードを通し結んで固定してください。
- ② 両端のガイドコードを垂直に下ろした位置(端から約65mm)にボルトを取付けてください。窓枠の外に取付ける場合はL金具を使用してください。
- ③ ガイドワイヤーを昇降テープ角リングに付属されている二重リングに上から順に通してください。
- ④ ガイドコードを軽く下に引き、ボルトの上から約20mmで結び目をつくり余分を切りナットをはめてください。
- ⑤ ゆるくなったら更に5mmぐらいずつ短くしてください。



〈製品幅4010mm以上の場合〉

- ① ガイドワイヤー用マウントの穴にターンバックルを金具で固定してください。
- ② ターンバックルの下の穴にガイドワイヤーを通しガイドワイヤー固定金具2個使用してガイドワイヤーを固定してください。
- ③ ガイドワイヤーを垂直に下ろした位置(端から約65mm)にガイドワイヤー受け金具を取付けてください。(ガイドワイヤー受け金具は付属していません。)



⚠ 注意

- ① ガイドコード受け金具は100kgの力で引っ張っても頑丈なものを使用してください。
※浅野金属工業 (株)
製品: アイプレートAK3001 同等品をお使いください。

- ④ ガイドワイヤーをガイドワイヤー受け金具に通し固定金具2個使用して固定してください。
- ⑤ ターンバックルを矢印方向に回転させてガイドワイヤーにテンションをかけてください。

- ・ターンバックルはテンションをかけられるようセッティング前に延ばしておいてください。

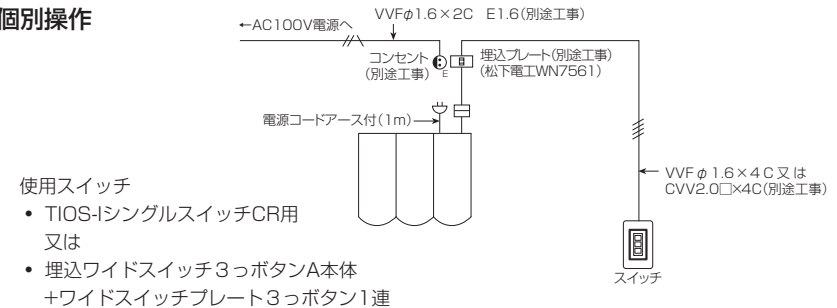
④ ウェイトの取付け (オーストリアン、バルーンスタイルのみ／標準仕様、ジョイント仕様共通)

- ① 昇降テープ下部のリングにウェイトを取付けてください。
- ② 両サイドは、ウェイト320、それ以外はウェイト160を取付けてください。

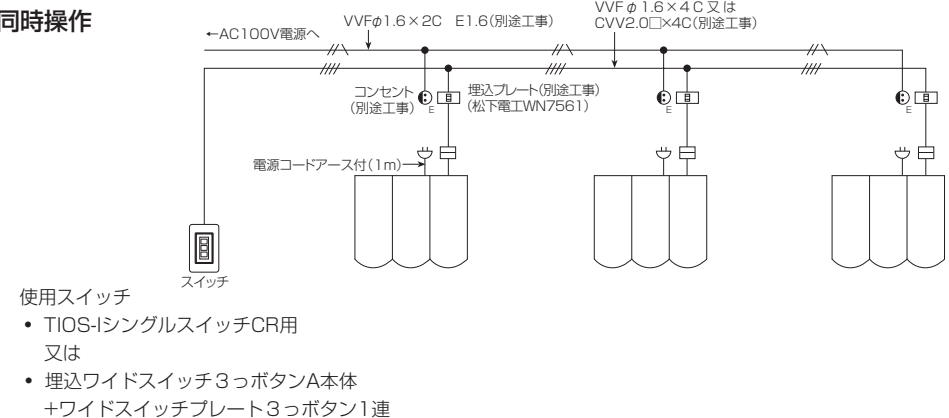
結線方法

※ 電源線・操作線の配線は、弊社営業担当者及び電気工事業者と十分な打合わせを行ってください。
上記配線及び結線は電気工事業者へ依頼してください。

● 個別操作

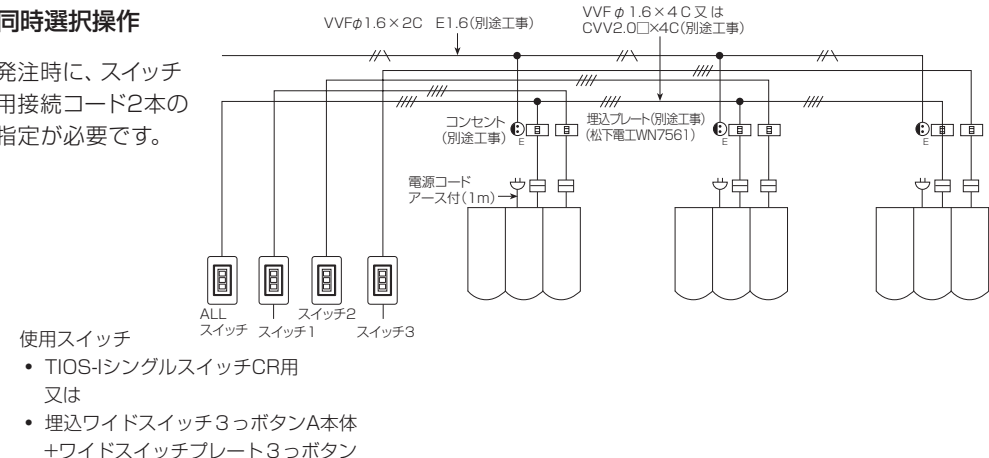


● 同時操作

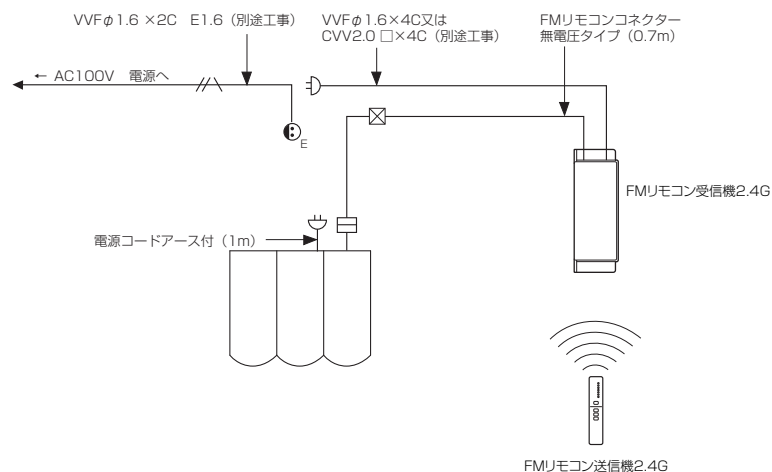


● 同時選択操作

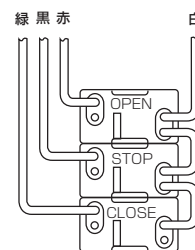
※ 発注時に、スイッチ用接続コード2本の指定が必要です。



※ 電波式遠隔スイッチ（FMリモコン）をご使用の際は、専用の取扱説明書をよくお読みください。
※ 電波式遠隔スイッチの到達距離は、最大30mです。（使用環境により異なります）

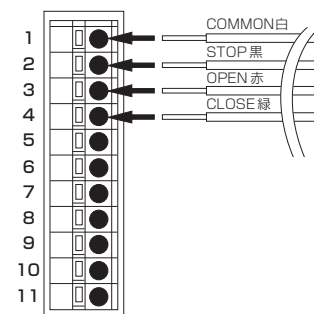


●使用スイッチ.....埋込ワイドスイッチ3ボタンA本体+ワイドスイッチプレート3ボタン



※ 本体コード「青色」「茶色」の線は使用しません。
※ 使用しない線は、絶縁テープ等で絶縁してください。

(スイッチ裏面)

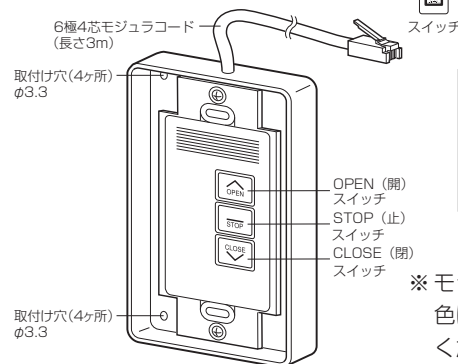


詳細は「TIOS-IシングルスイッチCR用露出仕様」の取扱説明書を参照してください。

※ 使用しない線は、絶縁テープ等で絶縁してください。

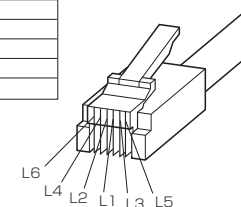
[illegible]

詳細は「TIOS-IシングルスイッチCR用露出仕様」の取扱説明書を参照してください。



番号	名 称	説 明	本体コード
L1	COMMON	共通信号	白
L2	STOP	STOPスイッチ信号	黒
L3	OPEN	OPENスイッチ信号	赤
L4	CLOSE	CLOSEスイッチ信号	緑
L5	NC	未接続	—
L6	LED	未接続	—

※モジュラコードの色と本体コードの色は一致していませんので注意してください。



“故障かな”と思ったら

動作しない。	- 停電しているか、電源プラグが入っていない。 →電源を入れてください。 - 幕体が何かに引っ掛かっている。 →引っ掛かっているものを取り除いてください。 - 連続して作動させた後、動かない。(モーター温度上昇による回転力低下。) →再作動させる場合は作動させた時間の3倍以上停止時間を設けてください。(モーター温度が下がれば回転力が回復します。) - 過負荷検知している。(何かに引っ掛かっていませんか) →引っ掛かっているものを取り除いてください。 スイッチの「OPEN」「CLOSE」を同時に2秒以上押してください。または、電源プラグを一度抜いてください。復帰します。 - 上限リミット、下限リミットの設定が同じ位置に設定されている。 →上限リミットまたは下限リミットの位置を再度設定してください。
	スイッチが正しく結線されていない。 → P.15 の結線方法を確認してください。
下降のみ動作しない。	昇降テープの位置とヘッドボックス内のプーリーケースの位置がずれている。 →ヘッドボックスカバーを外しP.6の昇降テープ位置修正方法を参照してプーリーケースを移動し、昇降テープの位置に合わせてください。
上限、下限位置が設定した位置で止まらない。	上限リミット、下限リミットの設定ボタンがフリー(リセット)の位置にある。 →再度設定したい位置でセットしてください。
片上り(片下り)する。	- 昇降テープの長さが異なっている。 →テープアジャスタ部で長さの調整をしてください。 〈ジョイント仕様の場合〉 - 昇降テープの長さが異なっている。 →ジョイントを外し、全てのテープの長さが同じになるまで昇降テープを引き出し、再度ジョイントを固定してください。
ジョイント部から異音がする。	ジョイントの位置がずれている。 →ジョイントの位置とヘッドボックスのジョイント部の位置を合わせてください。

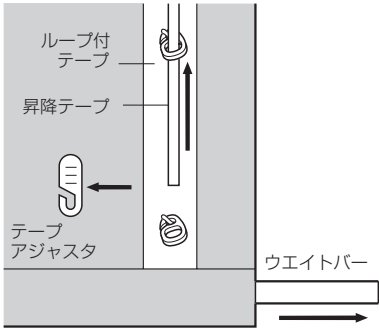
メンテナンス

■幕体の取外し方法(クリーニング等の場合)

- ①幕体を下まで降ろしてください。
- ②昇降テープ、ウエイトバー、ウエイトを取外してください。

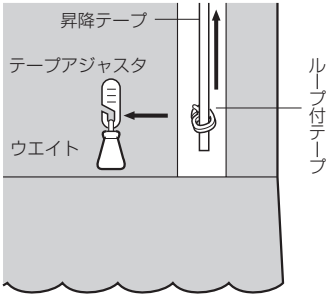
〈ブレーン、シャープの場合〉

- ①ウエイトバーを取り出してください。
- ②最下部のテープアジャスタから昇降テープを外し、ループ付テープから抜き取ってください。



〈バルーン、オーストリアンの場合〉

- ①最下部のテープアジャスタから昇降テープを外し、ループ付テープから抜き取ってください。
- ※オーストリアンの場合はガイドコードまたはガイドワイヤーの結び目もほどいてください。



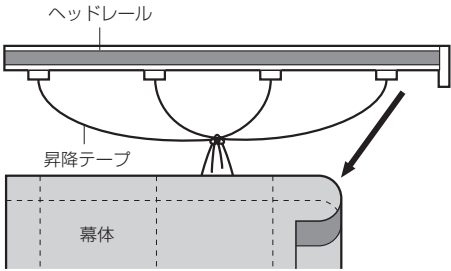
- ③幕体を取外してください。

- ①ヘッドレールから幕体をはがしてください。
- ②テープ類はヘッドレールから抜けられないよう束ねて結んでおいてください。

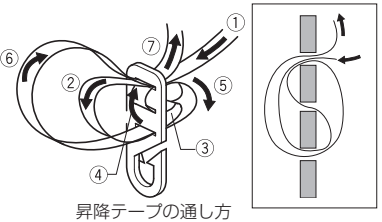
- クリーニング後は逆の順序で取付けてください。

幕体のクリーニングについて

幕体の裏側に表示してある洗濯絵表示ラベルに従ってください。



- テープアジャスタの取付けは昇降テープを図のように通してください。



昇降テープの通し方

② 昇降テープ交換手順

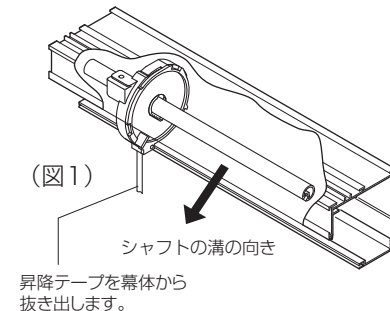
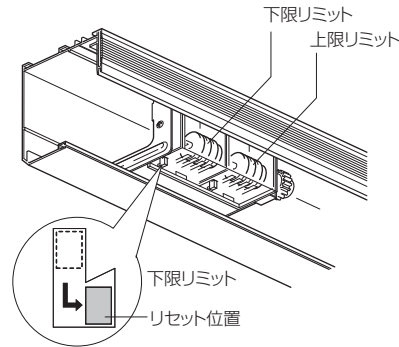
※ 昇降テープの切断、よじれ等による不具合が発生した際には、以下の手順に沿って、昇降テープを交換してください。（昇降テープは別売りとなります。）

- ① 幕体を下限位置まで下降してください。
- ② 不具合が発生した昇降テープが含まれている部分のヘッドボックス及びモーター、コントロール基板が設置されているヘッドボックスそれぞれのヘッドボックスカバーを外してください。
- ③ 下限リミットボタンをフリーの状態（リセット位置）で固定してください。

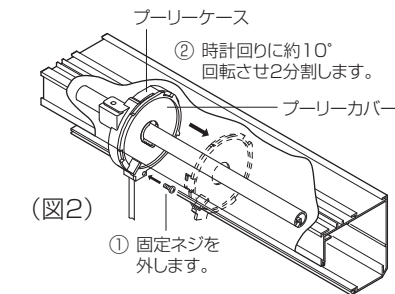
※ 正常な昇降テープに下限位置がわかるように目印をつけておくと作業はしやすくなります。

- ④ スイッチにて幕体を更に下降させ昇降テープを全て引き出してください。（昇降テープが逆巻きし、再び上昇する直前に止めてください。）
- ⑤ 不具合が発生した昇降テープを幕体最下端のコードアジャスタからほどき、幕体から抜き出してください。

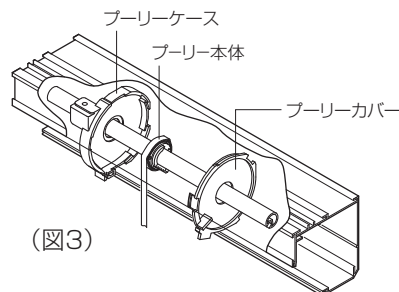
※ シャフトの溝が見えるか確認してください。



- ⑥ 不具合が発生した昇降テープが巻いてあるプーリーケースの固定ネジを外し ①、プーリーカバーを時計回りに約10° 回転させてプーリーカバーを外してください ②。（図2）



- ⑦ 内部の昇降テープが巻かれたプーリー本体を露出させ、余分に巻いてある昇降テープがあれば全て抜き出してください。（図3）



- ⑧ 更にプーリー本体からテープクリップを引き出し、その後昇降テープを持ってシャフトの溝に対して垂直に引っ張りテープクリップを外してください。（図4）

※ シャフトの溝に対して垂直に引っ張らないと、テープクリップは外れません。
もし垂直に引っ張れないようでしたら、再度スイッチにて下降方向に幕体を少し動かしてください。

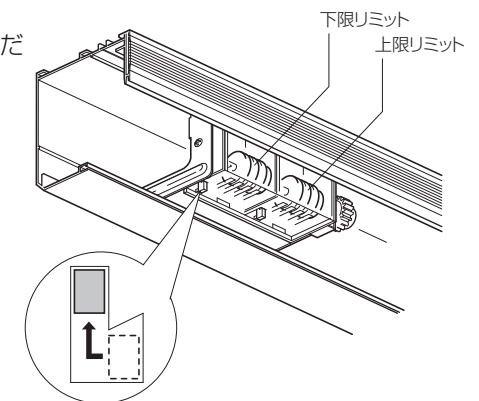
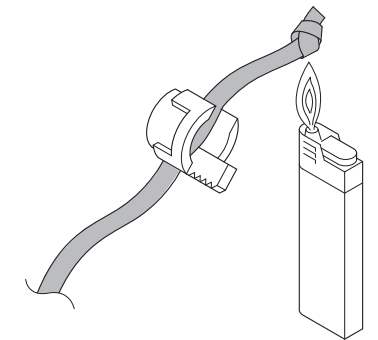
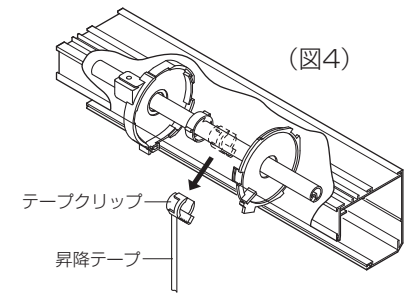
- ⑨ 昇降テープの結び目を引き抜き、テープクリップから外してください。
- ⑩ 幕体最下端のテープアジャスタから昇降テープをほどき、幕体から抜き取ってください。
- ⑪ 新規の昇降テープを再度テープクリップに挿入し、端部に結び目をつくり抜けないようにしてください。
※ 結び目の先は約10mmにカットしてください。
※ 結び目をライター等で軽くあぶって固めてください。

⚠ 注意

- ① 火の扱いには充分ご注意ください。

- ⑫ シャフトにはめ込み⑥～⑧の逆の手順でプーリーを組立ててください。
- ⑬ 幕体に昇降テープを取付け、最下端のコードアジャスタに結んでください。
- ※ 昇降テープの長さを合わせてください。
- ⑭ スイッチにて上昇させ最初の下限位置で止めてください。

- ⑮ 下限リミットボタンをセットの位置に戻してください。
- ⑯ ヘッドボックスカバーを取付けてください。



製品仕様

項 目		単位	定 格
電源電圧		V	AC100 ± 10%
電源周波数		Hz	50/60
消費電力	作動時	W	66
	停止時	W	5
操作電圧		V	DC12
操作電流		mA	7
使用周囲温度		℃	0～50（結露しないこと）
重 量		kg	メカ重量 1.3 + $\frac{W}{1000}$

※ 製品重量は、幕体により異なります。

項 目		単位	定 格
モーター電圧		V	DC140
定格回転数		rpm	40 ± 15%
出力軸定格トルク		Ncm	6.1（60kgf.cm：片側30kgf.cm×2）
定格動作時間		分	5

重量計算式

製品重量＝① メカ重量＋② 幕体重量（① 生地重量＋② 部品重量）			
① メカ重量 (g)	$1.12 \times 0.99 \times W + (N+1) \times 0.02$		
② 幕体重量 (kg)	プレーン	① 生地重量 ② 部品重量	$W \times H \times 1\text{m}^2$ 当たりの生地重量 (kg) $W \times H \times 0.04 + W \times 0.28$
	シャープ	① 生地重量 ② 部品重量	$W \times H \times 1\text{m}^2$ 当たりの生地重量 (kg) $W \times H \times 0.23 + W \times 0.28$
	バルーン	① 生地重量 ② 部品重量	$W \times H \times 2 \times 1\text{m}^2$ 当たりの生地重量 (kg) $W \times H \times 0.04 + W \times 0.09 + 0.16$ (kg)
	オーストリアン	① 生地重量 ② 部品重量	$W \times H \times 3.75 \times 1\text{m}^2$ 当たりの生地重量 (kg) $W \times H \times 0.04 + W \times 0.12 + 0.16$ (kg)

※ W＝製品幅 (m)、H＝製品高さ (m)、N＝スワック数 (個)

※ 重量は生地により多少異なります。

メンテナンスシール

●お買い上げの製品には、ウエイトバー又はヘッドボックス背面に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。

生産日が記載されています。

■ 生産日：***年***月***日

■ 品 名：スーパーリベルタ *****
900×1400

■ 受注No：*****

TOSO

Made in Japan

製品仕様が記載されています。

スーパーリベルタ

900×1400

機種名 スタイル名 製品幅 製品高さ

●メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。

※シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

マーキングについてのおことわり

ローマンシェードの一部に縫製加工のマーキングチャコ（紫色）が残っている場合があります。これは数日程で消えますが、気になる場合は水を付けた布でふくと早く消えます。

●マーキングが残っている場合の消し方

- ① 水をつけた布を軽くしぼります。
- ② マーキングの残っている箇所を布で軽くたたくようにして濡らします。

※ 綿等、縮みやすい素材は濡らしすぎないように注意してください。

③ マーキングは水とともに蒸発します。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミの箱と不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別規準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。